

発泡スチロール造形 手順書 (例)

(タケシール造形 塗布)

原型作製

発泡スチロールを切削し、
原型を作製します。



原型

原型部品接着

<位置決め>

接着剤「タケタック」を塗布する
箇所にマーキングをします。



位置決め

<接着剤塗布>

原型本体と部品の接着部位に接着剤
「タケタック」を刷毛などで薄く塗
布します。

※必要以上の厚みに塗ると極端に乾
燥が遅くなります。

注)「タケタック」は本来白色の液体
ですが、右の写真ではわかりや
すいようにピンク色に着色して
使用しています。



タケタック塗布 (本体側)



タケタック塗布 (部品側)

<乾燥>

15分程度自然乾燥します。

※接着剤塗布面がテープの接着剤の
面ようになるまで乾燥します。



乾燥

<接着>

原型本体と部品の接着剤塗布面
同士を圧着します。



圧着



接着後

表面調整

<パテ塗り>

切削後凹凸のできた発泡スチロール
の表面にタケパテSP-Mを刷り込
み、乾燥させます。



タケパテSP-M



タケパテ塗布

<乾燥>

30分程度自然乾燥します。



乾燥

<平滑化>

原型表面をサンドペーパーで研磨し、平滑化します。



平滑化



表面調整後

タケシール造形塗布

<タケシール造形>

タケシール造形は刷毛やローラーで塗布することができます。

お好みで水で0～5%（タケシール造形 100g に対し水 0～5g）希釈して下さい。

カップガン等で吹き付けすることも可能です。

<タケシール造形 塗布 1 回目>

タケシール造形を刷毛で塗布します。



タケシール造形



タケシール造形塗布

<乾燥>

乾燥します。（4時間以上）



乾燥

<タケシール造形塗布 2回目>
タケシール造形を刷毛などで塗布
します。



タケシール造形塗布

<乾燥>
乾燥します。(4時間以上)



乾燥



仕上げ

<着色>

着色には必ず水性塗料をご使用ください。 溶剤系の塗料を使用するとタケシール造形及び、
発泡スチロールが溶解してしまいます。ご注意ください。